

令和 2 年度決算に係る

定期監査

資料

決算審査

令和 3 年 7 月

商工労働部兼農林水産部  
市場開拓局 販路拡大・輸出促進課

## 目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	職員の定員、現員調べ	1
4	役付職員の調べ	1
5	主な事業に関する調べ	2
6	決算資料（総括表）	7
7	事業別実施状況調べ	8
8	予備費の充用調べ	1 1
9	繰越関係調べ	1 1
	(1) 継続費通次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
1 0	収入証紙取扱調べ	1 2
1 1	現金の取扱状況	1 2
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
1 2	財産に関する調べ	1 2
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
1 3	財産の貸付け及び使用許可調べ	1 5
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
1 4	借受不動産明細調べ	1 5
1 5	職員駐車場の管理状況調べ	1 5
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
1 6	寄附物件の受納状況調べ	1 5
1 7	備品の処分状況調べ	1 6
1 8	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	1 6
	(1) 亡失、損傷の報告状況	
	(2) 物品確認の実施状況	
1 9	貸付金等状況調べ	1 6
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	1 6

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項 ……該当なし

(2) 監査意見 ……該当なし

(3) 決算審査意見 ……該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況 ……該当なし

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
	3.4.1 現在	2.4.1 現在	3.4.1 現在	2.4.1 現在	3.4.1 現在	2.4.1 現在	3.4.1 現在	2.4.1 現在	
定員	8	9	4	4			12	13	市場開拓局長含む
現員	( ) 9	( ) 8	( ) 5	( ) 5	( )	( )	( ) 14	( ) 13	市場開拓局長含む
過不足(Δ)	1	Δ1	1	1	0	0	2	0	予備定数配置1 産休予定1
臨時的任用職員						0	0	0	
会計年度任用職員						0	0	0	

4 役付職員の調べ

(令和3年7月1日現在)

職名	氏名	在職期間(年/月)		備考
市場開拓局長	岸田 絵理子		3	
販路拡大・輸出促進課長	上月 光則	1	3	
参事	渡邊 比呂志	1	3	
課長補佐	山根 貴徳	2	3	
課長補佐	榎野 弘之		3	
課長補佐	横地 義照		3	

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
「食のみやこ鳥取県」輸出促進活動支援事業 新型コロナウイルス感染症に対応した輸出促進活動 支援事業費補助金	23,787	15,824	0	0	7,963
将来ビジョン	—				
令和新時代創生戦略	—				
政策項目	—				
<p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>海外マーケットへ機動的に対応する需要喚起対策と、輸出に取り組む事業者への個社支援対策を講じることで、新型コロナウイルス感染症の影響下においても、県内事業者が行う農林水産物及び食品の輸出促進活動を支援し、海外での販路拡大や県産品の認知度向上を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>県産品(すいか、梨、和牛、柿、蟹など)の輸出促進のため、SNS等を活用したフェアPRや、ネットオークション販売など、新型コロナウイルス感染症の影響下に対応した新しい販促活動を展開するとともに、海外渡航を伴わない県内事業者の輸出促進活動を支援し、鳥取県産品の知名度向上と販路拡大を図った。</p> <p>【香港での県産品ブランド化の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取すいかフェアの開催(7月)⇒イオン香港での販売が定着</li> <li>・鳥取岡山徳島農産物フェアの開催(9月)⇒イオン香港で新甘泉、鳥取和牛等の物産販売等を実施</li> <li>・鳥取和牛レストランフェアの開催(9月)⇒高級焼肉店で肉質日本一をPR</li> <li>・県産食品テスト販売会の開催(3月)⇒香港最大規模の小売施設「九號水産」でテスト販売を実施</li> </ul> <p>【台湾での県産品ブランド化の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取和牛のネットオークション販売(5・7月)⇒SNSによる新たな販促活動を実施</li> <li>・新甘泉のPR販売(9月)⇒高級百貨店等で中秋節の贈答需要を狙った販促活動を実施</li> <li>・鳥取物産展の開催(11-12月)⇒高級百貨店等で鳥取和牛、松葉がに、星空舞等のPR販売を実施</li> <li>・鳥取和牛レストランフェアの開催(1月)⇒高級フレンチレストランで肉質日本一をPR</li> </ul> <p>【新マーケット開拓に向けた取組】</p> <p>《中国》鳥取県観光及び県産品を吉祥航空サイト上でPR(3月)</p> <p>《韓国》オンライン商談会の実施(1-2月)</p> <p>《シガポール》レストランフェアの開催(2月)⇒高級日本料理店で松葉がに等を中心に県産食材をPR</p> <p>《シガポール》オンライン商談会の実施(3月)</p> <p>《タイ》富有柿のPR販売(12月)⇒高級百貨店、高級レストラン、SNS等による県産富有柿のPR</p> <p>《タイ》オンライン商談会の実施(3月)</p> <p>《インド》和酒輸出蔵元協議会の活動支援⇒国税庁、JETRO鳥取等と連携し取組を支援</p> <p>【新型コロナウイルス感染症での事業者の販路開拓活動を支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月補正で「新型コロナウイルス感染症に対応した輸出促進活動支援事業費補助金」を創設し、渡航を伴わない事業者の輸出促進活動を支援(2/3補助)⇒補助金活用事業者数11社</li> <li>・“日本の食品”輸出EXPOオンライン出展(10月)⇒出展事業者数6社</li> </ul> <p>イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響で、すいか、梨、和牛、柿、蟹などの主要輸出品目</p>					

の落ち込みが予想されたため、SNSを活用したPR、ネットオークション販売などのプロモーション活動を積極的に展開した。また、新型コロナウイルス感染症の影響下でも積極的に輸出に取り組む事業者に対して、渡航を伴わない輸出促進活動を支援するとともに、オンライン商談会の積極的な機会創出など、事業者の輸出を止めない支援策を展開した。

#### ウ 成果及び効果

##### ・農林水産物等の輸出額

[H29]15.2億円 ⇒[H30]18.9億円 ⇒[R1]24.3億円 ⇒[R2]22.8億円

【香港】すいか、新甘泉、鳥取和牛の認知度向上が図られ、継続取扱及び取扱量増の要望あり  
(イオン香港等)

【台湾】台湾への和牛輸出量が増加 [H30]0.2t ⇒[R1]9.4t ⇒[R2]5.1t、星空舞の定番化に向けて輸入  
商社と商談中

【シガポール】高級日本料理店での継続したフェアにより食を通じた鳥取県の魅力を発信

【タイ】高級フルーツ店(サイアム高島屋内)における県産品のリレー販売(梨→柿→いちご)が実現

【ロシア】参入が難しいアルコール輸出に向けて輸入商社と商談を開始

【国内】積極的なオンライン商談会により事業者の商談機会を創出(延べ39社。韓国、シガポール、タイ)  
“日本の食品”輸出 EXPO オンライン出展により4社5件の取引が成立

【補助金】制度活用により、11社が渡航を伴わない新たな販路促進活動を展開

#### エ 課題

##### (ア) 新しい生活様式における輸出促進活動へ展開への支援

消費者の行動変容に対応した新たなビジネスモデルでの農林水産物及び食品の輸出促進の支援策(需要喚起及び個社支援)に加えて、海外の食文化や生活スタイルに合わせた商品の生産・販売など、海外の消費動向(変わる需要)を捉えた「マーケットイン」の取組を推進し、新型コロナウイルス感染症の影響下においても所得向上に繋がる輸出を実現できる輸出事業者を育成していくことが必要。

##### (イ) 新たな輸出品目の育成

輸出額増加のためには、本県オリジナル品種の新甘泉、肉質日本一の鳥取和牛、GI登録品目など強みを活かした輸出品目の育成が必要。

##### (ウ) 県産品知名度向上、インバウンドとの連携

直行便で繋がる香港、韓国、訪日客の多い台湾、タイ等においてインバウンド施策と連携した県産品の現地プロモーション等を実施し、新型コロナウイルス感染症の収束後に備えた誘客と輸出促進の相乗効果を図ることが必要。

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
「食のみやこ鳥取県」ブランド化加速事業	39,358	19,679	0	0	19,679
将来ビジョン	I【ひらく】地域で・県外で・国外で新時代に向かって扉をひらく				
令和新时代創生戦略	1.豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる(2)農林水産業①農林水産業の活力増進				
政策項目	①農業生産9百億円・製造品出荷9千億円に				
(概要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
情報発信力の高い首都圏におけるメディア露出のほか、鳥取和牛オレイン55、五輝星(松葉がに)、新甘泉(梨)、輝太郎(柿)などの高品質ながら生産量が限られる品目について、情報発信力の高い首都圏を中心として国内外のハイエンド客層に対する情報発信により一層高級ブランドとしてのイメージ定着を図る。					
(イ) 事業の実施状況					
オンライン活用PR					
蟹取県ウェブカニキャンペーン	蟹取県ウェルカニキャンペーンと連携し、観光誘客PRができない代わりに、「47CLUB」及び「高島屋オンラインストア」でカニ商品をお取り寄せできる「蟹取県ウェブカニキャンペーン」を開催(11月～2月)				
合格祈願～蟹取県 困ったときのカニだのみ!～キャンペーン	カニや鳥取和牛、土産菓子など新型コロナの影響を受けて売り先に困っている生産者を応援するキャンペーンとして受験シーズンのゲン担ぎも兼ねて実施(3月)				
ANAケータリング	鳥取和牛、カニ、星空舞を活用した「ANA FINDELISH グルメ紀行ボックス・鳥取」(宅配食材調理キット)をANAグループと連携して開発(9月)				
料理人・料理業界に向けたPR					
料理専門雑誌の連携とシェフのネットワーク構築	トップシェフと知事の鳥取和牛対談(10月) 鳥取和牛レストランフェアの開催(12月) トップシェフや知事、生産者等によるオンラインジビエ座談会(1月) とっとりジビエレストランフェアの開催(3月) 「専門料理」、「dancyu」へのタイアップ記事掲載 こうした取組を通じてシェフ約250名とのネットワーク交流を継続・強化				
世界的な料理大会「ボキューズドール」との連携	世界大会への歴代出場者7名により、鳥取県産食材7種類をテーマにしたメニュー開発とタイアップ記事を「専門料理」に掲載(全7回)				
ハイエンド客層にむけたPR					
ホテルニューオータニ東京	ホテルニューオータニ東京での鳥取和牛フェア開催(7～9月)				
有名百貨店等でのフェア	日本橋三越(10、11月)、新宿高野(9月)、京橋千疋屋(9月) 伊勢丹新宿(10月)				
メディア等を活用したPR					
羽田空港での巨大看板掲載	モノレール羽田空港第2ターミナル駅で、鳥取和牛(7～9月)、星空舞(10～11月)、松葉がに(12～2月)の巨大看板を掲載				
雑誌	ナイルスナイル、まっがる鳥取、キャンキャン、ジャパブランドコレクション				
テレビ番組誘致	全国放送の情報番組などにおいて鳥取県食材を取り上げてPR 「ひるおび」「めざましテレビ」「ノンストップ」「ジャパネットたかた」「せやねん」				
イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
新型コロナウイルス感染症拡大及び東京オリパラの延期に伴い、計画していたイベント等による情報発信が実施できなくなったことから計画を大きく変更し、オンラインを活用した取組、雑誌やテレビなどを活用した情報発信などに重点を置くなど計画を大きく変更した。					

ウ 成果及び効果

特産物の認知度調査の推移（※県広報課が実施した令和2年度鳥取県に関するイメージ調査より）  
鳥取和牛 4.8%（R1）⇒5.6%（R2）、ジビエ 4.2%（R1）⇒5.4%（R2）、  
新甘泉 6.7%（R1）⇒7.5%（R2）、いちご 8.9%（R1）⇒11.9%（R2）、  
カニ 31.1%（R1）⇒29.8%（R2）

エ 課題

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、従来型のイベント等による情報発信が困難であり、オンラインを活用した取組の試行をしたが、こうしたデジタル化を強化することが必要。
- ・ブランド化について県ゆかりのメディア関係者などによる第三者によるアドバイスをいただき、新たな視点での情報発信などに取り組むことが必要。
- ・ハイエンド客層に対する高級ブランドイメージの醸成や料理人と連携した料理業界内での認知度向上を図る取組は継続して実施することが必要。

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
クラウドファンディング応援型先取り券事業「とっとり券」	84,911	84,911	0	0	0
将来ビジョン	—				
令和新時代創生戦略	—				
政策項目	—				

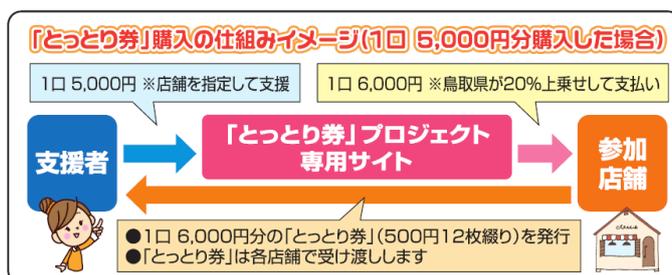
(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

売上減に悩む店舗をクラウドファンディングの即時入金で支援するとともに、20%のプレミアムを付けた「とっとり券」の利用で店や街の賑わいを取り戻すことを目的に実施した。

(イ) 事業の実施状況



- ・ 参加店舗：1,327 店舗      ※参加募集期間：6月12日～6月30日
- ・ 支援総額：247,060 千円 (支援者数：9,347 人)  
    ※支援受付期間：6月22日～7月10日
- ・ とっとり券利用期間：8月1日～令和3年1月31日

イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・ 従来の実績精算型の補助金制度ではなく、クラウドファンディングの決済システムを活用することで、集まった支援金額を、前払いで早急に店舗に入金することができる。
- ・ また資金調達と同時並行的に店舗の募集もできるため、速やかな事業執行が可能となる。

ウ 成果及び効果

- ・ 支援金及びプレミアム分20%を加えた約3億円(292百万円)が8月上旬には店舗へ入金された。前払いであるため、資金繰りに苦しむ店舗にとって効果的な支援であったと思われる。
- ・ 飲食店約800店、宿泊施設約160施設のほか、観光施設、お土産物屋、特産品直売所、理容所・美容所など多岐にわたる店舗に参加いただいた。

エ 課題

- ・ クラウドファンディングでの支援は、パソコンやスマートフォン利用者に限られるため、デジタル機器に慣れていない高齢者などの支援が制限される結果となった。

## 6 決算資料

## 一般会計（歳入）

（単位：円）

区分	科目	予 算 現 額				調 定 額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越財源充当額	計					
歳 入	総務費 国庫補助金	0	0	0	0	66,000,000	66,000,000	0	0	
	農林水産業費 国庫補助金	54,401,000	74,424,000	0	128,825,000	111,983,822	111,983,822	0	0	
	商工費 国庫補助金	12,395,000	0	0	12,395,000	11,990,742	11,990,742	0	0	
	財産貸付収入	6,000	0	0	6,000	6,000	6,000	0	0	
	合 計	66,802,000	74,424,000	0	141,226,000	189,974,564	189,980,564	0	0	

## 一般会計（歳出）

（単位：円）

区分	科目	予 算 現 額					支出済額 （決算額） B	支出済額の内訳		翌年度 繰越額 C	差引残額 （不用額） A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A		本 庁	出納 機関			
歳 出	農業総務費	139,087,000	57,489,000	0	0	196,576,000	170,086,075	170,086,075	0	0	26,489,925	
	一般管理費				66,198,000	66,198,000	66,197,870	66,197,870	0	0	130	
	商業振興費	44,962,000	△848,000	0	0	44,114,000	36,173,716	36,173,716	0	0	7,940,284	
	中小企業振興 費	49,833,000	△3,939,000	0	0	45,894,000	37,730,237	37,730,237	0	2,968,000	5,195,763	
	観光費	6,774,000	△474,000	0	0	6,300,000	4,603,696	4,603,696	0	0	1,696,304	
	合 計	240,656,000	52,228,000	0	66,198,000	359,082,000	314,791,594	314,791,594	0	2,968,000	41,322,406	

## 7 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予 算 現 額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業計画と実績・成果、 不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及 び繰越事 業費繰 越 額	予 備 費 支出及び 流用増減	計 A					
(農業総務費) (主)「食のみ やこ鳥取県」輸 出促進活動支援 事業	50,191,000	△28,066,000	0	0	22,125,000	15,698,851	0	6,426,149	70.1%	主な事業に関する調べのとおり
食のみやこ鳥取 県推進事業(お いしい鳥取PR 推進事業)	38,496,000	0	0	0	38,496,000	30,846,141	0	7,649,859	80.1%	県内農協、漁協等が行う県内外への販路 開拓、商品開発等の取組みを支援した。 また県外百貨店等で鳥取フェア等を開 催した。 【不用額発生理由】 新型コロナウイルス感染症の影響によ り、予定していた催事出展等が実施で きなかったため。
GI(地理的表 示)保護制度登 録産品拡大・ブ ランド化事業	900,000	△600,000	0	0	300,000	200,500	0	99,500	66.8%	GI登録産品の県内外への認知度向上の 取組みを支援した。 【不用額の発生理由】 新型コロナウイルス感染症の影響によ り、対面での試食販売やPR活動が実施 できなかったため。
(主)「食のみ やこ鳥取県」ブ ランド化加速事 業	40,000,000	0	0	0	40,000,000	39,357,509	0	642,491	98.4%	主な事業に関する調べのとおり
インバウンド・ TOTTORI 魅力発信事業	9,500,000	△5,205,000	0	0	4,295,000	3,495,000	0	800,000	81.4%	インバウンド客の多い大阪心斎橋の飲 食店と連携し、鳥取和牛をはじめとした 県産品をPRするとともに、伝統工芸や観

											光情報を発信した。 【不用額発生理由】 新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた上海での鳥取県物産展を延期したため。
とっとり農畜産物海外輸出需要強化事業	0	3,000,000	0	0	3,000,000	3,000,000	0	0	100%	新型コロナウイルス感染症の影響により、減少が予想された県産農畜産物の輸出を支える目的で、香港・台湾で実施したスイカ、梨、和牛等の物産フェアにあわせ、SNS映えを意識した販売促進用グッズを製作し、PRを行った。	
G○T○食のみやこ鳥取キャンペーン	0	10,000,000	0	0	10,000,000	10,000,000	0	0	100%	県内飲食店の利用促進及び需要の落ち込んだ県産食材支援のため、とっとりGoToEatキャンペーンと連動したプレゼントキャンペーンを実施した。	
輸出食品の製造施設緊急支援事業	0	23,892,000	0	0	23,892,000	21,220,000	0	2,672,000	88.9%	県内事業者が行う日本酒の輸出拡大に向けた取組（清酒分析機械、濾過器等の整備）を支援した。	
（主）クラウドファンディング応援型先取り券事業「とっとり券」	0	20,000,000	0	0	20,000,000	18,712,940	0	1,287,060	93.6%	主な事業に関する調べのとおり	
オンライン活用型「鳥取物産展」開催事業	0	19,468,000	0	0	19,468,000	19,467,134	0	866	100%	新型コロナウイルス感染症影響下での新たな販売方法を開拓するため、ECサイト大手2社と連携し、鳥取県WEB物産展を開催した。	
新型コロナウイルス感染症に対応した輸出促進活動支援事業	0	15,000,000	0	0	15,000,000	8,088,000	0	6,912,000	53.9%	新型コロナウイルス感染症の影響により、渡航が困難となったことから、非対面による輸出促進活動経費（例：インフルエンサーを活用した商品PR、PR動画の作成等）を補助する制度を創設し、輸出事業者を支援した。	

										【不用額発生理由】 想定より交付申請が少なかったため。
目 計	139,087,000	57,489,000	0	0	196,576,000	170,086,075	0	26,489,925	86.5%	
(一般管理費) (主)クラウド ファンディング 応援型先取り券 事業「とっとり 券」	0	0	0	66,198,000	66,198,000	66,197,870	0	130	100%	主な事業に関する調べのとおり
目 計	0	0	0	66,198,000	66,198,000	66,197,870	0	130	100%	
(商業振興費) 食のみやこ鳥取 県推進事業 (とっとりの逸 品販路拡大支援 事業)	16,089,000	△848,000	0	0	15,241,000	10,323,726	0	4,917,274	67.7%	首都圏、関西圏等の百貨店、量販店、飲 食店等において県フェアを開催した。 【不用額発生の理由】 新型コロナウイルス感染症の影響によ り、見本市におけるPR活動等が実施で きなかつたため。
鳥取県物産協会 運営費	28,873,000	0	0	0	28,873,000	25,849,990	0	3,023,010	89.5%	展示会や百貨店への催事出展等を実施 し、県産品の売込を行った。
目 計	44,962,000	△848,000	0	0	44,114,000	36,173,716	0	7,940,284	82.0%	
(中小企業振興 費) ふるさと産業支 援事業	7,438,000	△1,000,000	0	0	6,438,000	5,085,004	0	1,352,996	80.0%	販路開拓、後継者育成を行う県内事業者 を支援した。 【不用額発生の理由】 新型コロナウイルス感染症の影響によ り、年間10件程度ある販路開拓支援が3 件となったため。
食の安全・安心 プロジェクト推 進事業	22,495,000	△2,939,000	0	0	19,556,000	12,745,233	2,968,000	3,842,767	65.2%	食品製造事業者の衛生管理技術の向上 や、FSSC、ISO等の輸出向け国際認証取 得支援を行うため、相談窓口の設置、 研修会を開催するとともに、認証取得 に要する費用を助成した。

フードビジネス 拡大支援事業	19,900,000	0	0	0	19,900,000	19,900,000	0	0	100%	県内事業者が行うアイスクリーム等の 輸出拡大に向けた取組（生乳貯蔵タン クの整備）を支援した。
目 計	49,833,000	△3,939,000	0	0	45,894,000	37,730,237	2,968,000	5,195,763	82.2%	
(観光費) とっりの民工 芸振興事業	6,774,000	△474,000	0	0	6,300,000	4,603,696	0	1,696,304	73.1%	県外での展示会開催やオンライン販売 を実施した。 【不用額発生理由】 新型コロナウイルス感染症の影響によ り、首都圏での展示会が開催できなかつ たため。
目 計	6,774,000	△474,000	0	0	6,300,000	4,603,696	0	1,696,304	73.1%	
合 計	240,656,000	52,228,000	0	66,198,000	359,082,000	317,793,373	0	38,320,627	88.5%	

8 予備費の充用調べ・・・該当なし

9 繰越関係調べ

(1) 継続費繰越調べ・・・該当なし

(2) 繰越明許費調べ

(単位：円)

科 目	事 業 名	金 額	翌年度繰越額	左 の 財 源 内 訳				繰 越 理 由	
				既収入特定財源		未収入特定財源			一般財源
				〇 〇	〇 〇	〇 〇	〇 〇		
中小企業 振興費	食の安全・安 心プロジェクト推進事業 (食の安全・ 安心プロジェ クト推進事業 補助金)	19,556,000	2,968,000					2,968,000	新型コロナウイルス感染症の影響 により、補助対象事業の事業期間 が延長となったため。
合 計		19,556,000	2,968,000					2,968,000	

(3) 事故線越調べ . . . 該当なし

10 収入証紙取扱調べ

有 ・  無

11 現金の取扱状況

(1) 現金取扱状況 . . . 該当なし

(2) つり銭の状況 . . . 該当なし

12 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(令和3年3月31日現在)

行政・普通 財産の区分	施設名	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)		
普通財産	弓浜がすり 伝承館	境港市麦垣町86-2	2,764.26	43,902	増加	R					R	2,764.26	43,902	
					減少	R					R			
計			2,764.26	43,902			0	0				2,764.26	43,902	
合計			2,764.26	43,902			0	0				2,764.26	43,902	

イ 建 物

(令和3年3月31日現在)

行政・普通 財産の区分	施設名	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
普通財産	弓浜がすり伝 承館	境港市麦垣町 86-2	523.28	13,280.666	増加	R				R	523.28	13,280.666	
					減少	R				R			
計			523.28	13,280.666			0	0			523.28	13,280.666	
合計			523.28	13,280.666			0	0			523.28	13,280.666	

ウ 山 林 . . . 該当なし

エ 不動産売却等 . . . 該当なし

オ 財産の交換 . . . 該当なし

カ 動 産 (船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) . . . 該当なし

キ 物 権 . . . 該当なし

ク 無体財産権 (特許権、著作権、商標権、実用新案権等) . . . 該当なし

ケ 有価証券 . . . 該当なし

コ 出資による権利 . . . 該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和3年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
13枚	0枚	0枚	13枚
		0円	

(3) 基 金 ……該当なし

(4) 債 権

(令和3年3月31日現在)

債権の名称	前年度末		本 年 度 中				本年度末		備 考
			増		減				
	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	
弓浜がすり 伝承館（電 力供給配電 線支持物設 置のため）	0円		30,000円	1	6,000円		24,000円	1	
合 計	0円		30,000円	1	6,000円		24,000円	1	

1.3 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先住所氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
普通財産	弓浜緋保存会が行う弓浜緋の製造及び伝統技術の伝承に使用するため。	境港市麦垣町86-2	2764.26㎡	R2.7.1	R2.7.1	R2.7.1～R4.3.31	月額・年額 0	0	個人	文書ID: 20-00080227 無償貸与
	電力供給配電線支持物設置のため	境港市麦垣町86-2	電柱2本 支線2条	R2.4.1	H22.4.1	R2.4.1～R7.3.31	月額・年額 6,000	6,000	米子市加茂町2-51 中国電力(株) 米子営業所	文書ID: 19-00287791
計								6,000		
合計								6,000		

イ 建物

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先住所氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
普通財産	弓浜緋保存会が行う弓浜緋の製造及び伝統技術の伝承に使用するため。	境港市麦垣町86-2	523.28㎡	R2.7.1	R2.7.1	R2.7.1～R4.3.31	月額・年額 0	0	個人	文書ID: 20-00080227 無償貸与
計								0		
合計								0		

(2) 物品 (1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの) ……該当なし

1.4 借受不動産明細調べ ……該当なし

1.5 職員駐車場の管理状況調べ ……該当なし

1.6 寄附物件の受納状況調べ ……該当なし

17 備品の処分状況調べ

品名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	不 用 決 定 年 月 日	処 分				備 考	
			売 払 棄 却 の 別	売 払 方 法 ・ 棄 却 理 由	処 分 年 月 日	売 払 額		処 分 費 用
動力縫製織装置	(H30. 4. 1) S56. 11. 9	R2. 11. 10	棄却	耐用年数の大幅経過による劣化で、継続使用及び売却が見込めないため。	R3. 3. 15	円	462,000 円	処分費用は その他不用品の処分費用を含む。
合 計							462,000	

18 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 亡失、損傷の報告状況

有 ・  無

(2) 物品確認の実施状況

有 ・ 無

19 貸付金等状況調べ・・・該当なし

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等・・・特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等・・・特になし